広報 おだわら №472

昭和62年12月1日

編集発行 小田原市役所広報課 〒250 小田原市荻窪300番地

人口・世帯		(11月1日現在)
人口	189,068人	(前月比+91人)
世帯	58,274世帯	(前月比+41世帯)

安心して暮らせる老後を

高齢化社会のまちづくり

六十二年簡易生命表によると、日本人の平均寿命は男七十五・三歳、女八十・九三歳で世界最初の長寿国になりました。一方、我が国の老齢人口（六十五歳以上）の総人口に対する割合は、○九八一年に一八・二％が十年後に七・七％になっています。そして、今後も人口構成の急激な高齢化が進み、西暦二〇〇五年には第二の人口ピークとなる高齢社会になるといわれています。市は、高齢化社会の対策として、昭和六十年度から六箇所の老人福祉センターを開設するなど、おだわら「安心して暮らせる社会を目指す本市の高齢者対策」を策定しました。また、先月十日に高齢社会をテーマとした市民と共に考える会が開催されました。内容については、次回に掲載していますのでお楽しみください。

元気なお年寄りの笑顔が輝いた今年の老人体育祭

高齢化社会とは、一般に総、姓、保健、医療、教育、文化、環境、都市開発などを広範囲に含んだ、高齢者が活き活きと暮らせるように、社会参加や健康のもとの二つです。市では、の維持・増進、生活の経済的安定などに配慮した総合的な福祉政策のほか、援護や養護や必要なお年寄りのための年金や、収穫の喜びを味わっていただく老人農園の開設、趣味を楽しむ趣味講座の開催などを通じて仲間の輪を広げる事業、また高齢者の健康増進を目指しています。

それでは、本市の高齢者行政について、紹介します。

人口高齢化の波が、今年の人口ピーク（五歳以上）の頃から目立ってきます。この年には、人口の約六分の一が高齢者となる予定です。県内の他市と比べて、本市の老人人口は、世界一長寿で、総人口の〇・四パーセントを持って過ごすことを願っていきたいものです。

福祉サービスを必要とする人には

お年寄りの多くは、長年住み慣れた家を家族とともに生活することを望んでいます。市内では、寝たきりのお年寄りが約二百人、独り暮らしのお年寄りが約百人います。

高齢者の生活を支援するための福祉サービスとして、ホームヘルプサービスを、昭和六十年度から、市内の高齢者世帯を対象に、ヘルパーを派遣しています。

市では、これらのお年寄りが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、ホームヘルプサービスを、本人の自立を支援するための援助、助言、指導等を行っています。

また、市内の障害児童福祉施設、養護老人ホーム、老人福祉センターなどの施設の利用者、高齢者などが、各種講座や各種行事などを通じて、仲間づくりをすすめ、生きがいを高めるための、健康増進、教養、趣味、レクリエーション活動などを、社会福祉協議会を通じて、ボランティアの協力を得て、実施しています。

生きがい支える社会参加を

高齢期になり仕事から退いて、自由な時間が多くなった方に、学生など老人を含めた、家族や地域の中で自分のこれまでの人生経験を活かしながら、社会の中で生きがいを見出せる、世代間交流による、高齢者の生活動向を調査計画「おだわら自治会」などにより、高齢者の老人クラブ活動などを通じて、老人スポーツ活動に加担する事、これらのお年寄りが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、ホームヘルプサービスを、本人の自立を支援するための援助、助言、指導等を行っています。

また、市内の障害児童福祉施設、養護老人ホーム、老人福祉センターなどの施設の利用者、高齢者などが、各種講座や各種行事などを通じて、仲間づくりをすすめ、生きがいを高めるための、健康増進、教養、趣味、レクリエーション活動などを、社会福祉協議会を通じて、ボランティアの協力を得て、実施しています。

また、高齢者をおい、年寄りの生活を支援するための、ホームヘルプサービスを、本人の自立を支援するための援助、助言、指導等を行っ

優良産業勤労者を表彰

商工業・農業・水産業に従事の50人

市内では、十月一日で、水産業の各分野に従事し、お互いに協力し合い、たゆまぬ努力を重ねられた方々を表彰するとともに、これからも、産業の振興と発展に献身されたお方々を顕彰するとともに、市長賞を贈りました。

（敬称略）

◆商工業関係

原産業（株）小田原市役所）瀬戸物商組合）小田原城北）瀬戸正夫（小雄）加藤美治）原始絹）二子母衣（株）小田原産業）服部服装）原正雄（株）小田原産業）石橋（株）小田原産業）石橋（株）小田原農業協同組合）桑原（株）小田原産業）山口好一（株）小田原産業）大石輝夫（小田原農業協同組合）

子（株）小田原産業）長谷川（株）小田原産業）

（株）小田原産業）長谷川（株）小田原産業）

（株）小田原産業）長谷川（株）小田原産業）

同和問題への理解を深めよう

私たちは、まちがいのない人生、幸せな生活、たいへんうれしい問題かいな、と言葉はいろいろ使われますが、人間の民族の違いは、言葉の違い、生地の違い、出生地の違い、職業の違い、出生地の居住地の違いなどいろいろあります。しかし、自由の権利が奪われ、不当に人権侵されることがあってはなりません。

人種や民族の違いは、何人かいながら、働く意欲を奪われ、職業の違いは、生地の違いは、差別を生み、生活の安定を奪われ、出生地の居住地の違いは、差別を生み、自由の権利が奪われ、不当に人権侵されることがあってはなりません。

ところが、現実の社会は、何人かいながら、働く意欲を奪われ、職業の違いは、生地の違いは、差別を生み、生活の安定を奪われ、出生地の居住地の違いは、差別を生み、自由の権利が奪われ、不当に人権侵されることがあってはなりません。

なかでも、部落差別（同和問題）の存在は、教育課題の最重大社会問題です。

部落差別（同和問題）は、古くから、差別を生み、生活の安定を奪われ、自由の権利が奪われ、不当に人権侵されることがあってはなりません。

なぜ、同和問題が民主化、差別をなくしていくことを阻害しているのか。

私たちは、だれもが生まれながらに、差別をなくすことを願っています。

しかし、現実には、差別や偏見はなくなっていません。

これは、一部の人が、差別を作り出すことを、意識的に、または、無意識に、差別をしていることがあります。

そこで、差別をなくすためには、人権問題を考える講演会を開催することが、大切であります。

人権問題を考える講演会を開催

私たちは、「人権問題は、国民社会に、差別をなくすことを、国民社会に、差別をなくすことを、国民社会に、差別をなくすことを

市長と話し合う会

高齢化社会の　迎える に当たって

十一月十七日、市役所で今年度第三回の市長と話し合う会が開かれました。今回のテーマは高齢化社会を迎える に当たって の、その概要を ご紹介します。（文中敬称略）

高齢化社会に備え研究委員会設置

市長　お忙しいところお越しいただきまして、ありがとうございます。これまでいろいろ、そのつど高齢化社会に対する問題、高齢化社会に対する対応についていろいろ、ご意見をいただいてきました。中でも一番大きな問題、高齢化社会に対する対応ということで、今、人口ピラミッドを見ますと、人口ピラミッドの中で、ちょうど、人口のいちばん多い、五十歳から六十五歳までの、いわゆる、団塊の世代、この人たちが、ちょうど、六十五歳になるのは、ちょうど、二〇〇〇年、西暦二〇〇〇年、ちょうど、ミレニアムの年、この年に、ちょうど、六十五歳になるわけです。

柳田　高齢社会への看守　老人福祉課　**市長**　要望は聞き入れる思います。

ところが、方々、自分の持っていただきまして、ありがとうございます。

市長　ご意見ありがとうございます。

丸山　ホームへ入りたくない。世の中の役に立つことをボランティアをしたい。

丸山　ホームへ入りたくない。世の中の役に立つことをボランティアをしたい。

柳田　ボランティアを市で育成化して

柳田　高齢社会への看守　老人福祉課　**市長**　要望は聞き入れる思います。

ところが、方々、自分の持っていただきまして、ありがとうございます。

市長　ご意見ありがとうございます。

丸山　ホームへ入りたくない。世の中の役に立つことをボランティアをしたい。

柳田　ボランティアを市で育成化して

菊花展

星野さん（中里）が大臣賞

小学生特選は酒匂の朝倉君に

第三七回の田原菊展で、学生の作品百八十鉢も含まれていました。

十月一日から十二日まで、天守閣広場二市民交化参加行事として開かれました。今たまたま蕾の結果、星野さん（中里）が大臣賞、酒匂の朝倉君が小学生特選、切石五十嵐さん、光安さん（酒匂）が農知事賞、志村さん（中里）が市長賞、小田原市長賞、高橋さん（酒匂）が議長賞、東木小学校が優秀校に選ばれました。

今年も菊花展にはたくさんの見物客が訪れました

志村さん（中里）が市長賞を受賞し、二十九日に市役所庁舎で表彰されました。

なお、小学生の部では朝倉、高橋君（酒匂小）が特選、東木小学校が優秀校に選ばれました。

長期営農継続農地の確認について

免除申請は農業委員会へ

昭和五十八年度から長期営農継続農地として定ずされている地域、今年一五月目に農地法（五月）する例が増えて管理されていることが確認されなければ、五年間農地として使用する場合、過去五年間農地として使用する例が多くなります。これらを使用する場合は、過去五年間の申請を農業委員会へ出してください。

農継続農地として定ずされている地域、今年一五月目に農地法（五月）する例が増えて管理されていることが確認されなければ、五年間農地として使用する場合、過去五年間農地として使用する例が多くなります。これらを使用する場合は、過去五年間の申請を農業委員会へ出してください。

◆道路の使用（占用）は

道路・歩道・道路の一帯交通の安全を確保する場合、道路の使用（占用）は許可を受けなければなりません

新春のスポーツ行事

新春をスポーツでお祝いし、みなさんに楽しみながら体力の向上を図っていただくために、各種団体が多彩な行事を実施しますので、自由に参加できる行事には気軽にご参加ください。

月日	行事名	日	時間	会場	対象	主催団体
1月1日	元旦初泳ぎ	日の出		御幸の浜	協会員	水泳協会
	新年初歩き大会	午前6時		水の公園	自由	歩け歩け会
	軟式テニス元旦初打ち	午前6時30分		城山庭球場	自由	軟式庭球協会
	硬式テニス元旦初打ち	午前6時30分		城山庭球場	自由	テニス協会
	川東地区駅伝競走大会	午前9時		印刷局周辺	地区民	川東地区体育振興会
	バドミントン元旦初打ち	午前10時		白山中体育館	自由	バドミントン協会
	元旦マラソン大会	午前10時		城址公園周辺	自由	小田原市体育協会
1月4日	弓初	午前10時		城内弓道場	協会員	弓道協会

ご声援ください 市駅伝競走大会

市駅伝競走大会が、一月十七日に開催されます。新春恒例のこの大会は今回で二十九回を迎えます。

駅伝のコースは、市役所前をスタートし市内各地を結び、五十一分の二、十キロです。

○第一区（三・二キロ）女子ルの市役所前～九反田四

○第二区（四・一キロ）

茶屋通り～物知り交差点～

○第三区（五・五キロ）

新玉ヤンナ前～八子橋～

橋カネボウ前～二方通行

○第四区（六・八キロ）

飯泉橋～ロータリ～

○第五区（六・八キロ）

十字消製薬所～鴨宮郵便

折～印刷局病院前右折～

印刷局前交差点～ゲート先

○第六区（六・一キロ）

印刷局前～小田原駅前

○第七区（三・六キロ）

駅前～市役所前～駅輪場前

（新コースの走路区間と通過予定時刻）

○第一区（六・八キロ）

市役所前～駅輪場前～

川崎陸運小田原営業所～本町

源場入口左折～穴部駅前～

穴部農協前～上新田～農道

～田島石橋交差点～農道左

～田島石橋交差点～農道左

～中里農協

○第二区（五・五キロ）

中里農協～農道右折～

～久保字清原右折～清水院

院前（十時十二分～ろ）

○第三区（三・六キロ）

下曽我農協～水道道～曽我

大友分道所～根木商店右折

～ゴルフセンター右折～

下交差点～久野信機～市役

所（十時五十五分～ろ）

○第四区（三・六キロ）

下曽我農協～水道道～曽我

所（十時五十五分～ろ）

○問合わせ・体育課 ☎33

尊徳マラソン 参加者を募集

二宮尊徳生誕二百年記念

尊徳マラソン大会を二宮尊徳生誕二百年記念事業として開催します。奮って参加ください。

◆日時 三月十三日（日）

◆種目及び種別 五キロ＝一般の部

◆受付 午前七時四十分

◆開会式 午前九時～城址

◆主催団体 小田原市教育委員会

◆スタート時刻 二十キロ＝九時三十五分・十キロ＝九時四十分

◆参加料 小中学生＝千円・一般＝二千円

◆受付 二月二八日（土）

◆申込方法 郵送・直接

◆問合せ・申込先 小田原市教育課 ☎0465-33-1333

新春に城址を走ろう 第19回 元旦マラソン

第十二回市民マラソン大会が、城址に新春を迎える元旦マラソンとして、今年も開催されます。奮って参加ください。

◆日時 一月一日元旦（金）午前十時

◆コース 城址庭球場～国道一号線～蓮正寺～城内～

◆参加資格 一般・一部＝五歳（八キロ）

◆問合せ・申込先 小田原市教育課 ☎0465-33-1333

ちびっ子体操教室

リズム体操や鉄棒を

小田原スポーツ子供体操教室は、国際体操連盟公認の指導者が指導します。

◆日時 一月十七日から三月十七日まで（全十回）

◆対象 小学一年生～六年生

◆場所 小田原スポーツ会館

◆時間 午後四時半～五時

◆参加料 千円（五百円）

◆申込方法 一月七日（木）午前九時～五分に整理券を配布、定員を超えた場合は時子五名が抽選により参加者を決定します。

◆問合せ・申込先 小田原スポーツ会館 ☎0465-33-1333

参加しよう 小学生駅伝

第六回小田原市小学生駅伝競走大会を開催します。奮って参加しましょう。

◆日時 一月七日（日）

◆コース 小田原城外郭公園及びゲス野鳥区周辺

◆当日の日程 受付＝午前九時～十時

◆定員 百・百子チーム（一チームの人数＝東・北各五人）

◆参加資格 小学校の児童

◆参加料 一チーム千円

◆保険料 一チーム千円（本人負担）

◆申込方法 郵送・直接

◆問合せ・申込先 小田原市教育課 ☎0465-33-1333

体験学習 しめ飾りを作る会

参加者を募集中です

◆日時 一月十日～十二月十日

◆場所 文化財保護課

◆対象 小学校四年生以上

◆定員 三十人

◆指導 青木正一氏

◆持参するもの 鎌・ペンチ・ハサミ・ノコギリ・ナタ・ハケ・ボンド・ニス・ペンキ・ハケ・ボンド・ニス・ペンキ・ハケ・ボンド・ニス・ペンキ

足柄小学校が県健康優良学校に

健康観察板で自分で健康チェック

十一月一十五日に横浜市で開かれた全国学校保健安全研究大会で、足柄小学校が「入間管理と共同の取り組みを通して」の研究発表で、県健康優良学校（一般部門）に選ばれました。

学校は、「入間管理と平和の精神を養い、かつ豊かな人間性の育成」をめざして教育目標に掲げ、学校、PTA、地域が一体となって取り組んでいる学校です。

足柄小学校は、「心身ともに健康な子」として表彰されました。

教育委員会で、生活、みなさん一般教養、生活技術や趣味などを楽しみながら身に付けようとする講座です。

◆講座名・市内在住、在勤、在学者・どの講座も初心者以上の方

◆申込受付方法
①受付開始の日に定員を超えた場合は抽選となります。受講者にはその旨を連絡します。受付開始後は先着順で、受付開始時間を分けるお願いをします。
②その他の講座は、受付開始日に定員に達しない講座は、受付開始日の翌日から受付します。
③1人で申込みできる講座は、1講座のみです。
④1人で申込みできる講座は、1人1講座です。
⑤申込書は、1人1枚です。
⑥受付開始日に定員に達しない講座は、受付開始日の翌日から受付します。
⑦受講料は、材料費は込みです。
⑧講座に材料は込みです。
⑨講座に材料は込みです。
⑩講座に材料は込みです。
⑪講座に材料は込みです。
⑫講座に材料は込みです。
⑬講座に材料は込みです。
⑭講座に材料は込みです。
⑮講座に材料は込みです。
⑯講座に材料は込みです。
⑰講座に材料は込みです。
⑱講座に材料は込みです。
⑲講座に材料は込みです。
⑳講座に材料は込みです。
㉑講座に材料は込みです。
㉒講座に材料は込みです。
㉓講座に材料は込みです。
㉔講座に材料は込みです。
㉕講座に材料は込みです。
㉖講座に材料は込みです。
㉗講座に材料は込みです。
㉘講座に材料は込みです。
㉙講座に材料は込みです。
㉚講座に材料は込みです。
㉛講座に材料は込みです。
㉜講座に材料は込みです。
㉝講座に材料は込みです。
㉞講座に材料は込みです。
㉟講座に材料は込みです。
㊱講座に材料は込みです。
㊲講座に材料は込みです。
㊳講座に材料は込みです。
㊴講座に材料は込みです。
㊵講座に材料は込みです。
㊶講座に材料は込みです。
㊷講座に材料は込みです。
㊸講座に材料は込みです。
㊹講座に材料は込みです。
㊺講座に材料は込みです。
㊻講座に材料は込みです。
㊼講座に材料は込みです。
㊽講座に材料は込みです。
㊾講座に材料は込みです。
㊿講座に材料は込みです。

◆申込みは1月8日から

◆問い合せ・中央公民館☎83-3300

◆問い合せ・中央公民館☎83-3300

◆問い合せ・中央公民館☎83-3300

おしらせ

国民年金の老齢年金支払日を変更

国民年金の老齢年金は、これまで3月、6月、9月、11月の2か月分まとめて支払われていたが、63年2月からは、毎月の支払日を変更されます。なお、変更後の支払月と支払期日は次のとおりですので、お間い合わせください。

支払月	支払期間
2月	12月・1月
4月	2月・3月
6月	4月・5月
8月	6月・7月
10月	8月・9月
12月	10月・11月

問い合わせ 保険年金課国民健康保険係 ☎83-8867

国保料の納付額証明書を配布

昭和62年分国民健康保険料納付額証明書を、4月分納入通知書と一緒に、月中旬に各世帯主宛に配布します。

◆問い合わせ 保険年金課国民健康保険係 ☎83-8834

高齢者居室整備資金追加貸付け

県では、60歳以上の高齢者のみの世帯や、身体障害者のみの世帯などを対象に、居室の増築、補修、改築などを行う場合に、また、お年寄りの世帯が、住宅改造しようとする場合に、また、お年寄りの世帯が、住宅を新築・増築する場合に、また、お年寄りの世帯が、住宅を購入しようとする場合に、資金の貸付を行っていますが、今回追加を行っています。

◆対象 昭和63年3月末までに限定されます。

◆貸付限度額 増築・改築の場合 100万円、住宅購入の場合 60万円

◆貸付期間 増築・改築期間等から2年を限度とします。

◆貸付利子 年1.5パーセント